

教職課程の情報公開（武蔵野学院大学）

・教員養成の理念や養成する具体的な教員像

本学の学則第1条において、「教育基本法・学校教育法及び建学の精神に基づき、教育を社会との関連において捉え、他者理解を根底においた創造的な知性と豊かな人間性、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度及び高度情報化社会に対応できる諸能力をそなえ、我が国及び国際社会の発展に寄与する主体性のある人材の育成を目的とする」としており、教員養成・構想に合致するものと考えている。

・教職指導に係る学内組織などの体制

（1）大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

① 委員会の名称 教職センター〈教育実習担当〉

② 委員会等の構成員（役職・人数等）

教職センター長（1名）

副センター長（1名）

センター委員（1名）

事務職員（2名）

③ 委員会等の運営方法

3年次に行う「教育職員基礎学力試験」の問題作成及び試験の採点・評定を中心とするとともに、外部機関による「英語検定試験」などに関する学生の状況等も含め、当該学生が、教育実習に適格かどうかに関する資料を「武蔵野学院大学教育実習連絡委員会」に提出・審議し実習参加者を決定する。

また、実習生の評価に関して、教職センターで基礎資料を作成し、「武蔵野学院大学教育実習連絡委員会」で決定する。

（2）大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等

① 委員会の名称

教職センター

② 委員会等の構成員（役職・人数等）

教職センター長（1名）

副センター長（1名）

センター委員（1名）

事務職員（2名）

③ 委員会等の運営方法

埼玉県教育委員会、狭山市教育委員会などより指摘等があった場合、検討する。

・教員養成に携わる専任教員の経歴、専門分野、研究実績など（2024年5月1日現在）

氏名	学位	担当科目	業績・経歴
高橋 暢雄	法学修士	進路指導	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『他者理解へのアプローチ』（監修・共著、武蔵野学院 武蔵野短期大学、平成15年） <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「「他者理解」のための基礎諒解（1）」（『武蔵野学院大学大学院紀要』第11輯、平成30年3月） ・「キャリア教育における「他者理解」（1）～キャリア教育が目指す力～」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第15輯、平成30年3月） ・「キャリア教育における「他者理解」（2）～前提基礎力としての「チームシップ」～」（共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第16輯、平成31年3月） ・「キャリア教育における「他者理解」（3）～「向き合う力」への基盤マインドセット」（共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第17輯、令和2年3月） ・「キャリア教育における「他者理解」（4）～時代精神と視座の転換期に」（『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第14輯、令和3年3月）
佐々木 隆	博士(英文学)	総合的な学習の時間の指導法 英語文学 英語科教育法Ⅱ 国際文化交流	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本英語文化学会編『英語文化研究』（共著、日本英語文化学会創立45周年記念論文集、春風社、令和3年3月） ・『「ハロウィーン」とは何か』（前編）（中編）（後編）（武蔵野学院大学佐々木隆研究室、令和3年4月） ・『書誌から見た「オタク」研究』（前編）（中編）（後編）（多生堂、令和3年5月） ・『文芸上・映像上の人造人間・ロボット・アンドロイド・サイボーグ』（前編・中編・後編）（武蔵野学院大学佐々木隆研究室、令和3年8月）

			<ul style="list-style-type: none"> ・『日本シェイクスピア劇上演年表 (1866年～2019年4月)』(多生堂、令和3年9月) 〔学術論文〕 ・『『総合的な学習の時間の指導法』の実践報告』(『新教育課程研究』第26号、武蔵野教育研究会、令和3年12月) ・「遠隔授業の実践報告—English Reading & Writingの授業の場合」(『新教育課程研究』第27号、武蔵野教育研究会、令和4年2月) 〔その他〕 ・教員免許状更新講習講師(平成21年度～令和3年度) ・NPO法人子ども大学かわごえ講師(平成29年度) ・武蔵野学院大学・武蔵野短期大学子ども大学さやま講師(平成25年度、平成28年度) ・武蔵野学院大学・武蔵野短期大学コラボレーション講座講師(平成30年度)
高橋 恵美子	博士(文学)	日本文化論1	<ul style="list-style-type: none"> 〔著書〕 ・『中世結城氏の軍記と家伝』(勉誠出版、平成22年) 〔学術論文〕 ・「中世武家文書における仮名使用の変遷—鎌倉期を中心に」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第14輯、平成29年3月) ・「中世軍記史料における料紙表現—『平家物語』諸本を中心に」(湯山賢一編『古文書料紙論叢』、勉誠出版、平成29年) ・「中世武家文書における仮名使用に関する一考察—足利氏を中心に」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第15輯、平成30年3月) ・「家伝史料『結城軍記』諸本の相関関係—『小山記』『長沼日記』を対照して—」(松尾葦江編『軍記物語講座第四巻 乱世を語りつぐ』、花鳥社、令和2年)

			<ul style="list-style-type: none"> ・「醍醐寺所蔵「野月」と松橋流秘点」(永村眞編『中世寺院の仏法と社会』、勉誠出版、令和3年) ・『『太平記』における合戦描写—二つの小手指原合戦』(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第17輯、令和6年3月) [その他] ・武蔵野大学生涯学習講座講師(平成30年～令和3年) ・所沢市並木公民館40周年記念講座「『太平記』を読む～新田氏と所沢」講師(令和5年全6回)
TRAMBLEY Jeffrey	修士(音楽)	英語科教育法IV English Listening & Speaking 1 English Listening & Speaking 2	<ul style="list-style-type: none"> [著書] ・<i>Magic Hat : English Course II</i>(共著、教育出版株式会社、平成20年) ・『ネイティブあたまで・何でも・言える英会話フレーズ辞典』(新星出版社、平成22年) ・『ネイティブ日常英会話リアルフレーズ辞典』(新星出版、平成30年) ・『日本人の9割がじつは知らない英単語100』(ちくま新書、令和2年) [学術論文] ・“An Initial Assessment of Student iPad Usage at a Japanese University”(『武蔵野学院大学研究紀要』第10輯、平成25年4月) ・“Fostering Learner Autonomy and Motivation Utilizing an Online Reading Journal in Google Drive”([co-authorship] <i>Annual Conference on Education Innovation, The Conference Proceedings of ACEI, 2013</i>) [その他] ・教員免許状更新講習講師
久保田 哲	博士(法学)	日本社会論 1	<ul style="list-style-type: none"> [著書] ・『元老院の研究』(慶応義塾大学出版会、平成26年) ・『グローバル化と日本の政治・経済』(共著、芦書房、平成26年) ・『なぜ日本型統治システムは疲弊

			<p>したのか』(共著、ミネルヴァ書房、平成 28 年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『帝国議会－西洋の衝撃から誕生までの格闘』(中央公論社、平成 30 年) ・『歴史の中の人物像－ふたりの日本史』(共著、小径社、令和元年) ・『明治十四年の政変』(集英社インターナショナル、令和 3 年) ・『図説 明治政府－日本人が求めた新しい国家体制とは』(戎光祥出版、令和 3 年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「元老院国憲案に対する政治史的再考」(『自由民権』、令和 2 年) ・「外国新聞が報じた近代日本－元老院の創設から明治 14 年の政変まで」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 19 輯、令和 4 年 3 月) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伊藤博文の帝国議会構想」(日本選挙学会平成 29 年度研究会、平成 29 年 5 月)
藤田 公司	文学士	English Reading & Writing 2 基礎英語 2	
砂子 岳彦		情報処理入門	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『数理と経理』(マルゲン出版、平成 11 年) ・『システムと生成』(アイザックアド、平成 16 年) <p>[研究論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自己に問う教養の在り方：現象学の視点から導く一考察」(共著、『常葉大学健康プロデュース学部雑誌』第 14 巻第 1 号、令和 2 年) ・「論語における『学び』の現象学的意味」(『常葉大学経営学部紀要』第 7 巻第 2 号、令和 2 年) ・「V.E.フランクルの実存を構成する自己と他者：現象学の視点から解く

			<p>人間構造と共生」(共著、『総合人間学 研究』第14巻、令和2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合気道から導かれる共生：自他の 関係と内属的共同性」(共著、『共生社 会システム研究』第14巻、令和2年) ・「鏡像段階における双対性と統合」 (『常葉大学経営学部紀要』第8巻第 1号、令和2年) ・「論語における徳の構造」(『常葉大 学経営学部紀要』第8巻第1号、令 和2年) ・「現象から意味へ」(『常葉大学経営 学部紀要』第8巻第2号) ・「メルロ=ポンティの存在論の自然 化：『存在論的波動』をめぐって」(『常 葉大学研究』、第9巻第2号、令和4 年) ・「羊羹のアイデア：田辺元の『切断』 をもとに」(『常葉大学経営学部紀要』 第9巻第2号、令和4年) ・「『人間とは何か』をモデルによっ て答える：現象学的な視点から」(共 著、『総合人間学』第16巻第1号、 令和4年) ・「『生活世界』が基礎づける物理学 的空間」(『常葉大学経営学部紀要』第 10巻第1号、令和4年)
和田 賢治	博士(学術)	Advanced English Reading & Writing 2	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『北京のアダム・スミス 21世紀の 諸系譜』(共訳、作品社、平成23年) ・『グローバル政治理論のための30 冊』(共著、人文書院、平成23年) ・『国際関係論の生成と展開 日本の 先達との対話』(共著、ナカニシヤ 出版、平成29年) ・“Microfinance : empowering women and/or depoliticizing poverty?” ([co- authorship] <i>Handbook on the International Political Economy of Gender</i>, Northampton, MA: Edward Elgar Publishing, 2018) ・「『戦争と社会』という問い」(シリ ーズ戦争と社会1)(共著、岩波書店、

			<p>令和3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『批判的安全保障論ーアプローチとイシューを理解する』(共著、法律文化社、令和4年) [学術論文] ・博士論文「武力紛争後の女性のニーズに対する支援と統治 グローバル・リベラル・ガバナンスによるリスク管理をめぐって」(神戸大学、平成22年3月) ・「平和構築への女性の関与 ジェンダー主流化のパラドックス」(『平和研究』第43号、平成26年10月) ・「保守のアジェンダへの女性・平和・安全保障の再構成ーカナダのハーバー政権を事例に」(『ジェンダー研究』令和元年) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
林 大輔	法学修士 アメリカ研究 修士	英語討論	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『戦後アジア・ヨーロッパ関係史 冷戦・脱植民地化・地域主義』(共著、慶応義塾大学出版会、平成27年) ・『東アジアの中の日本と中国:規範・外交・地域秩序』(共著、晃洋書房、平成28年) ・『中国はどこへ向かうのか国際関係から読み解く』(共著、弦書房、令和3年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「EU・中国関係の制度的枠組 法的基盤・重層的対話枠組・パートナーシップ」(『日本EU学会年報』、平成30年5月) ・「欧州の中国認識と対中国政策をめぐる結束と分断 規範と利益の間に揺れ動くEU」(日本国際問題研究所編『中国の対外政策と諸外国の対中政策』、令和2年3月) ・「戦後英米議会における対中国政策 英国議会对中国親善使節と米連邦議会「中国援助法」の成立、一九四五年―一九四九年」(『武蔵野学院大学研究紀要』第18輯、令和3年3月)

			<ul style="list-style-type: none"> ・「変化の時代の中の欧州・中国関係ー新型コロナウイルス・香港問題・米中対立を中心に」(『CISTEC ジャーナル』第 192 号、令和 3 年 3 月) [その他] ・「対立と協調の狭間でー欧州から見た中国」(福岡ユネスコ・アジア文化講演会「対外関係から見た中国」、エルガーラホール、令和元年 12 月) ・教員免許状更新講習講師
横手 尚子	英米文学士	基礎英語 2	<ul style="list-style-type: none"> [著書] ・『世界に通じるマナーとコミュニケーションーつながる心、英語は翼』(共著、岩波書店、平成 29 年) ・『ネイリストのためのマナーと接客英会話』(IBC パブリッシング、平成 30 年) ・『おもてなし接客英会話テキストブック改訂版：外国人送迎ドライバー向け接客マナーの基本と接客英語』(NextPublishing Authors Press、平成 31 年) [学術論文] ・「おもてなしを多面的に考察するーおもてなし本来の意味とはー」(『武蔵野学院大学研究紀要』第 17 輯、令和 2 年 3 月) ・「外国語習得における大学生の意識調査ー留学生 50 名と日本人学生 100 名の学びの姿勢が語るもの」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 18 輯、令和 3 年 3 月) ・「英語教育における World Englishes の影響ーグローバル化にともない変化する英語と英語教育に関するー考察ー」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 19 輯、令和 4 年 3 月) [その他] ・「『接客英語を身につける』 Learning Teacher's Forum : 英語を教える全ての人々へ」(ENGLISH JOURNAL、アルク、令和 2 年) ・講演「運転席から世界に伝わるマ

			<p>ナーの心とおもてなし英語」(岡山県観光連盟・岡山県タクシー協会、令和元年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
CHERRY Jonathan		English Listening & Speaking 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC Bridge at Musashino Gakuin University: Ongoing Development of the English Program. 「TOEIC Bridge の導入とその評価について」(共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第15輯、平成30年) ・ A Study on the Acquisition of Japanese as A Second Language: In Case of An International Student from Kenya. 「日本語習得過程の一考察－ケニア人留学生の場合」(共著、『武蔵野学院大学研究紀要』第16輯、平成31年) ・ Sociocultural Adaptation Competency Amongst International Students from the People's Republic of China at Musashino Gakuin University. 「武蔵野学院大学における中国人留学生の社会文化適応能力について」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第17輯、令和2年) ・ A Study of Student Wellbeing Using DASS-21. 「DASS-21 を使用した大学生のウェルビーイングに関する一考察」(『武蔵野学院大学研究紀要』第20輯、令和5年)
穂元 美咲	修士(文学)	English Reading & Writing 2 Advanced English Reading & Writing 1 異文化コミュニケーション	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “Narrative Constructions in Japanese and English : the difference between Japanese and English Perspectives” (<i>Collquia</i>, 第33号、平成24年) ・ “ Interactive nature of conversation : the ‘fake’ turn-keeping system of lists and its prosody” (<i>Colloquia</i>, 第34号、平成25年) ・ 「人口共通語希求の内発性と外発

			<p>性についての一考察」(『藝文研究』第112号、平成29年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会言語学のトレンドと言語意識」(<i>Fora</i>, 第2号、平成30年) ・“Reconsidering Gender Research in Communication : From Sociolinguistic Perspective” (『武蔵野学院大学研究紀要』第18輯、令和3年3月)
森田 真登	文学修士	<p>English Reading & Writing 1 Advanced English Reading & Writing 2 基礎英語 1 基礎英語 2 英語科教育法 I</p>	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ On the Complementation of the Verbs in the Peterborough Chronicle (修士論文、平成31年) ・ On the Choice of Complements with Causative Verbs in Sir Orfeo: Comparison between the Three Extant Manuscripts. (『Colloquia』第40号、令和元年) ・ 「高等学校英語教育における英語史の活用 -OED Text Visualizer を用いて教科書本文の単語の理解を深める-」(『Colloquia』第42号、令和3年) ・ 「『天気の子』の英語吹替における日本語版との差異について」(『Fora』5、令和5年) <p>[その他]</p> <p>関東学院大学兼任講師 神奈川大学兼任講師 星槎大学兼任講師</p>
CASU Barbara	博士 (学術)	<p>English Listening & Speaking 1 English Listening & Speaking 2</p>	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aspetti linguistici e storico-religiosi nella poesia ryukyuna:”Omorososhi” (ナポリ東洋大学大学院東アジアの言語と文化研究科言語学専攻修士論文、平成25年12月) (伊) ・ 「奄美・沖縄文化圏における来訪神儀礼ー伊平屋島・田名のウンジャミ祭祀を中心に」(法政大学大学院人文学史学専攻国際日本学インスティテュート修士論文、平成29年3月) ・ 「祭祀の変容と継承問題ー伊平屋島字田名のウンジャミとシヌグを事例に」(『沖縄文化研究』48、法政大

			<p>学沖縄文化研究所、令和3年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「沖縄本島北部及び奄美諸島南部に見られるウンジャミとシヌグ論」(『沖縄文化』第52巻2号、沖縄文化協会、令和3年9月) ・「琉球列島の来訪神—史料の分析を中心に」(『国際日本学論集』第19号、法政大学、令和4年3月) ・『地方の来訪神儀礼に見られる琉球国家祭祀の影響—北琉球文化圏を中心に』(法政大学大学院人文科学研究科史学専攻国際日本学インスティテュート博士論文、令和5年1月) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「琉球の神歌コーパス構築の初期報告」九州方言研究会会報55号(令和5年7月、オンライン、共著 カルリノ・サルバトーレ, カーズ・バーバラ) ・「琉球の神歌コーパス作成について」DH フェス 2023(令和5年2月、オンライン、共著 カルリノ・サルバトーレ, カーズ・バーバラ) ・「祭祀組織の継承問題—伊平屋島宇田名のウンジャミとシヌグの事例からの考察」駿河台日本・社会文化研究会(平成31年11月、駿河台大学) ・「琉球列島における爬龍船競漕と祭祀の関係」南西諸島研究会(平成31年7月、明治大学) ・「ウンジャミとシヌグの相互影響の有無」沖縄文化協会(平成30年6月、琉球大学)
青木 由紀子	博士(教育学)	English Reading Writing 1 English Reading Writing 2 Advanced English Reading Writing 1 Advanced	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生きる力としての Death Education の可能根拠—生の意味の宗教的解釈にもとづいて—」(『カトリック教育研究』第21号、平成16年8月) ・研究ノート「教育で問われる知性の再構築 —教育改革をめぐる議論の再考とカトリック教育の可能性—」(『カトリック教育研究』第34号、平成29年9月)

		<p>English Reading & Writing 2 基礎英語 1 基礎英語 2 教育原理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「デューイの教育科学論における量的価値と質的価値の再構築」(『東アジア教育研究』第7号、平成31年1月) ・「19世紀リベラル・エデュケーション論争とJ.H.ニューマンの大学論の形成」(『上智教育学論集』第54号、令和2年3月) ・「J.H.ニューマンの知の統合の構想:『大学の理念』における知性と宗教性との関連に着目して」(『カトリック教育研究』第37号、令和2年10月) ・「J.H.ニューマンの教育思想における想像力の検討」(『東アジア教育研究』、第13号、令和4年1月) ・ ‘Liberal Education and Liberalism in John Henry Newman’(『上智大学教育学論集』第57号、令和5年3月) [その他][翻訳] ・『教育にこだわるということ:学校と社会をつなぎ直す』(共訳書、ガート・ビースタ著、上野正道監訳、山口裕毅、藤井佳世、佐藤邦政、青木由紀子、宮崎康子、中田康一訳、東京大学出版会、令和3年11月)
桐田 敬介		<p>English Listening & Speaking 1</p>	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『教師教育』(共著)(さくら社、平成27年) ・『THE こども理解』(共著)(明治図書出版、平成27年) ・『シリーズ新時代の学びを創る7 図画工作・美術科 理論と実践 新しい表現と鑑賞の授業づくりのために』(共著)(あいり出版、平成28年) ・The Palgrave Handbook of Global Arts Education. (共著)(Palgrave MacMillan, 平成29年) ・”Learning Through Art #3: International Pictures of Practice” (共著)(InSEA Publications、令和4年) <p>[学術論文]</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ・「新旧学習観の擦り合わせプロセスの解明—小学校算数科『式と計算』の授業を事例として」(『個性化教育研究』第5号、平成25年) ・「リード『芸術による教育』の現象学的再解釈—表現の価値の相互承認に基づくゲームルールの自発的発展」(『上智教育学研究』第26号、平成25年) ・「「光の空間」における造形遊びのエピソード記述—記憶とブリコラージュ」(『美術教育学研究』第46号、平成26年) ・「図画工作科における表現と鑑賞を一体とする造形活動の理論化の試み—レヴィ=ストロース芸術哲学を援用して」(『日本美術教育研究論集』第47号、平成26年) ・「総合的な学習の時間の単元立ち上げに関する質的研究—M-GTAによる『白紙単元立ち上げ』プロセスモデルの構築—」(共著)(『せいかつか&そうごう』第21号、平成26年) ・「声の多元性、複数の現実性、その衝撃—マキシン・グリーン of 文芸的アプローチとアーツ・セントラルティをめぐって」(『教育学研究』第90巻4号、令和6年)。 <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ The Creativity of Bricolage in the “Artistic Play Activities (Zoukei-Asohi)” (World Alliance for Art Education, Brisbane, Australia. 平成26年)
野村 和	修士(教育学)	教育原理 教育課程総論 教育方法 (ICT活用を含む)	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『よくわかる生涯学習 (改訂版)』(共著、ミネルヴァ書房、平成28年) ・『社会教育の学習論』(共著、学文社、平成28年) ・『生涯学習支援の基礎』(共著、学文社、令和4年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本における『児童の権利条約』批准以降の取り組みと課題に関する

			<p>考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第15輯、平成30年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ソサエティ5.0に向けての教育課程に関する考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第16輯、平成31年) ・「昭和初期のラジオによる母親像形成に関する研究」(『武蔵野短期大学研究紀要』第34輯、令和2年) ・「新学習指導要領における教師の役割に関する考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第17輯、令和2年) ・「保育者のキャリア形成に関する課題を踏まえた教育に関する考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第18輯、令和3年) ・「地域子育て支援におけるアクティブシニアの活動に関する考察」(『武蔵野短期大学研究紀要』第36輯、令和4年) ・「『他者理解』に向けた内部質保証システム構築に関する考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第19輯、令和4年) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
成瀬 雄一	修士(心理学)	教育相談 特別支援教育	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「描画における臨床心理学的効果に関する展望—描画行為に内在する身体的自己拡張感の検討—」(共著、『人間関係学研究』18巻2号、平成24年) ・「全学校規模の介入の確立に向けた行動コンサルテーションの展開」(共著、『日本LD学会 第21回年次大会発表論文集』、平成24年) ・「保育者のメンタルヘルスと行動コンサルテーション」(『武蔵野短期大学研究紀要』第28輯、平成26年) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現場復職した初任者教員をどう支援するか—SEIQol-DWによる行動コンサルテーションの質的検討」

			<p>(日本学校メンタルヘルス学会 第19回プログラム・抄録集、平成28年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「初任者幼稚園教諭の主観的 QOL の変化—就職前後に起こる個人内判断基準の変化を中心に—」(日本学校メンタルヘルス学会 第23回大会プログラム・抄録集、令和2年) ・教員免許状更新講習講師
八木 浩雄	修士(教育学)	道徳教育の指導法	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『子どもの育ちを支える 教育課程・保育課程論』(共著、大学図書出版、平成26年) ・『保育者・小学校教諭・特別支援学校教諭のための教職論』(共著、北大路書房、平成26年) ・『子どもの育ちを支える 子どもと言葉』(共著、大学図書出版、平成28年) ・『教育の質を高める 教育原理』(共著、大学図書出版、平成29年) ・『教育の知恵 60 教師・教育者を励まし勇気づける名言集』(共著、一藝社、平成30年) <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『『論語』に見る「言葉」の扱いについての—考察—保育者として「言葉」を考える上での—一例として—』(『武蔵野短期大学研究紀要』第29輯、平成27年3月) ・「今日の学校教育での道徳教育の位置づけについて—幼稚園教育要領・小学校学習指導要領の改定を踏まえて」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第16輯、平成31年3月) ・「教員間の連携を支える情報メディアの活用について—本学の担任としての学生指導を例に—」(共著、『武蔵野短期大学研究紀要』第33輯、平成31年3月) ・「遠隔授業時の情報メディア機器活用の実態—授業を通しての実際を踏まえて—」(『武蔵野短期大学研究

			紀要』第 35 輯、令和 3 年 3 月) [その他] ・教員免許状更新講習講師
青木 雅幸	M.A. in TESL/TEFL	English Reading & Writing 1 English Reading & Writing 2 英語科教育法Ⅲ	[著書] ・ <i>Have a Nice Day! Talking about Daily Activities</i> (南雲堂、平成 19 年) ・ <i>English in 30 Seconds-Award Winning TV Commercials from the Cannes Festival</i> (南雲堂、平成 21 年) ・ <i>The Globalized Business World</i> (成美堂、平成 23 年) ・ <i>Inspirational Stories from Around the World</i> (南雲堂、平成 28 年) ・『児童英語教育のための方法と技術』(南雲堂、令和元年) [学術論文] ・“Analyzing ‘The Critics’ Choice 2012 : Anti-smoking TV Commercial Reel’ as a Recommended Free Educational Resource Developed by ANYPAT” (『武蔵野学院大学研究紀要』第 13 輯、平成 28 年 3 月) ・“Methods and Techniques for Utilizing Commercials as Teaching Materials” (『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 11 輯、平成 30 年 3 月) ・「豪州テレビ CM に観る企業・製品標語の分析とその言語・異文化教育への応用」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 13 輯、令和 2 年) [その他] ・教員免許状更新講習講師
荒木 洋育	博士 (文学)	基礎英語 1	[著書] ・『悪の歴史 西洋編 (下)』(共著、清水書院、平成 30 年) [学術論文] ・『『アングロ＝ノルマン王国』崩壊期における国王とクロス＝チャネル＝バロンズ』(『西洋史学』第 226 号、平成 19 年 3 月) ・『『アングロ＝ノルマン王国』崩壊

			<p>期のイングランド国王財政とクロス＝チャンネル＝バロンズ」(『史学雑誌』第116巻第4号、平成19年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジョン治世初期のイングランド国王行政の再評価－軍役代納金の徴収状況から」(『歴史学研究』第843号、平成20年8月) ・「1960、70年代英国の貿易構造の転換とニュージーランド 自立とその代償」(『日欧比較文化研究』第18号、平成26年10月) ・『『マグナ＝カルタ』を公認した英王ジョンの虚像と実像 プランタジネット家の君主として』(『日欧比較文化研究』第19号、平成27年10月) ・「リチャードI世・ジョン期イングランドの統治構造と教皇との関係：カンタベリー大司教・行政長官ヒューバート・ウォルターの役割」(『日欧比較文化研究』第21号、平成29年10月) ・「エリノア・オブ・アキテーヌとリチャードI世期イングランド統治体制」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第15輯、平成30年3月) ・「ジョン期イングランドの統治手法の特徴とその問題点：軍役代納金の賦課状況から」(『日欧比較文化研究』第22号、平成30年3月) ・「ウィリアム・マーシャルとリチャードI世期イングランド統治体制」(『日欧比較文化研究』第24号、令和2年) <p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県立芸術総合高校 特別非常勤講師
稲葉 真二		進路指導	<p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別寄稿「学習指導要領の改定と社会人基礎力の再定義についての考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第18輯、令和3年3月)

梅田 紘子	文学修士	英語学概論	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『ことばの事実をみつめて 言語研究の理論と実証』（共著、開拓社、平成 23 年） ・『言語聴覚士国家試験－受験対策実践講座 2017～18 年版』（共著、診断と治療社、平成 28 年） <p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“On the Function of Tense in English and Japanese”（『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 3 輯、平成 22 年 4 月） ・“Hedges and Rising Intonation : Politeness Phenomena in English and Japanese”（『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 6 輯、平成 25 年 4 月） ・「アイルランドー抵抗の歴史と現状」（『日欧比較文化研究』第 17 号、平成 25 年 10 月） ・「国際貢献のための日本英語」（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 11 輯、平成 26 年 3 月） ・「「積極的」と「消極的」の英語訳－『吾輩は猫である』における用例より－」（『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 8 輯、平成 27 年 3 月） ・“Introducing TOEIC Bridge to Musashino Gakuin University : Evaluation of the 2014 Results”（共著、『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 12 輯、平成 27 年 3 月） ・「英語仮定法－反事実でない用法について」（『日欧比較文化研究』第 21 号、平成 29 年 10 月） ・「分詞構文の持ち味」（『日欧比較文化研究』第 24 号、令和 2 年） <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
上久保 利直		スポーツ 1 スポーツ 2 スポーツと健康	
GARDNER Robert		English Listening &	

		Speaking 1	
許 楽	法学修士	中国語 I	〔学術論文〕 <ul style="list-style-type: none"> ・「京津冀労働政策的差異與協同」(北京行政学院学報、令和 2 年) ・修士論文「中国失業保険制度の創出一福祉構築をめぐる政治力学」(慶応義塾大学、令和 2 年 3 月)
國枝 俊弘	修士 (文学)	教育心理学	〔学術論文〕 <ul style="list-style-type: none"> ・「企業の市場調査、および人事評価からみた、大学教育に関するアプローチ」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 18 輯、令和 3 年 3 月) 〔その他〕 <ul style="list-style-type: none"> ・人材採用×心理学アプローチ「なぜ歯科衛生士の見極めに失敗するのか？」(歯科の人材研究セミナー vol.2、令和元年)
小口 恵巳子	博士 (社会科学)	教育社会学	〔著書〕 <ul style="list-style-type: none"> ・『親の懲戒権はいかに形成されたか 明治民法編纂過程からみる』(日本経済評論社、平成 21 年) ・『三行半の世界とその周縁』(共著、日本経済評論社、平成 24 年) ・『y 家族ペディア』(共編、弘文堂、平成 27 年) ・『家庭支援論』(共著、一藝社、平成 30 年) 〔学術論文〕 <ul style="list-style-type: none"> ・「明治民法編纂過程における親の懲戒権—名誉維持機能をめぐって—」(『比較家族史研究』第 20 号、平成 18 年 3 月) ・博士論文「明治民法編纂過程における親の懲戒権の研究」(お茶の水女子大学、平成 19 年 3 月) ・「旧民法編纂過程における親の懲戒権の生成過程とフランス民法の受容」(『人間科学研究』第 4 巻、平成 20 年 3 月)
齋藤 英男	教育学士	生徒指導論	〔学術論文〕 <ul style="list-style-type: none"> ・「書道 (書くこと) を通した心理的

			<p>効果に関する考察」(『武蔵野学院大学研究紀要』第9輯、平成24年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育におけるナラティブ活用に 関する研究」の研究過程と教員養成」 (『武蔵野学院大学日本総合研究所 研究紀要』第10輯、平成25年) ・「教育におけるナラティブ活用の 研究－教員養成について」(『武蔵野 学院大学日本総合研究所研究紀要』 第11輯、平成26年) ・「幼児・児童の筆跡による性格・行 動との関連の考察」(『武蔵野学院大 学研究紀要』第12輯、平成26年) ・「日本の書道文化についての考察」 (『武蔵野学院大学日本総合研究所 研究紀要』第12輯、平成27年) ・「筆跡における性格用語と筆跡特 徴の整合性の研究 2」(『武蔵野学院 大学研究紀要』第17輯、令和2年) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
高野 一雄	文学士	<p>教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 教職実践演習 (中・高) 基礎英語1 基礎英語2</p>	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「効果的な教育実習講義の実施に 向けての一考察」(『武蔵野学院大学 研究紀要』第18輯、令和3年) ・「学習指導要領改訂の経緯に関す る一考察－高等学校英語の「目標」の 変遷」(『武蔵野学院大学日本総合研 究所研究紀要』第18輯、令和3年3 月) ・「『英語が使える日本人』育成のた めの行動計画及び『国際共通語とし ての英語力向上のための5つの提言 と具体的施策』についての一考察」 (『武蔵野学院大学日本総合研究所 研究紀要』第19輯、令和4年3月) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状更新講習講師
田中 雄一 朗	修士(法学)	韓国語Ⅰ	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済学修士論文「南北交易におけ る現代グループの対北朝鮮事業」(慶 応義塾大学大学院、平成24年3月) ・「金大中・盧武鉉・李明博政府の対 北朝鮮政策と南北経済協力の政治的

			<p>意義：韓国国内政治の視点から」(『国際情勢』第83号、平成25年2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法学修士論文「南北経済協力の政治的意義－開城工業団地を事例として」(慶応義塾大学大学院、平成26年3月) ・「(原文インドネシア語) 朝鮮半島の中の9.30事件」(共著、『(原文インドネシア語) 冷戦の影の中の9.30事件とアジア』、ジャカルタ：コンパス社、平成28年3月)
辻 健司		現代社会論 (日本国憲法を含む)	
中川 太介	修士 (政治学)	中国語 I	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中華民国初期、雲南における塩政改革案 産塩を中心に」(『東洋学報』第97巻第2号、平成27年9月) ・「中華民国北京政府期における雲南の塩政改革」(『社会経済史学』第83巻第1号、平成29年) ・修士論文「雲南辺境における辛亥革命－非・中心としての国家・民族」(平成19年3月) ・博士論文「中華民国期の雲南における塩業改革－北京政府時期を中心に－」(平成30年7月) <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書評「周婉窈著、石川豪、中西美貴訳『図説 台湾の歴史』(平凡社)」(『史学雑誌』第117巻第1号、平成20年)
西村 友樹雄	博士 (比較文学)	フランス語 I	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アンドレ・ジッド『アンドレ・ヴァルテールの手記』における音楽その理想と瓦解について」(『日本フランス語フランス文学会 関東支部論集』第23号、平成26年12月) ・「(原文フランス語) アンドレ・ジッドと音楽－『ショパンについてのノート』をめぐって－」(『日本館他分野研究会ノート』第9号、平成28年2月) ・博士論文「(原文フランス語) アン

			ドレ・ジッドの『ショパンについてのノート』とその時代 「ロマン主義的」音楽家に立ち向かう「古典主義的」音楽家？」(パリ・ナンテール大学、令和2年6月)
蓮池 重代	教育学博士	韓国語 I	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修士論文「歴史教育における「朝鮮戦争」認識の現状と課題」(上越教育大学、平成21年1月) ・「フーコーのエピステーメ区分によるコメニウスの『世界図絵』の類型分析」(共著、『教育哲学研究』38(2)、韓国教育哲学学会、平成28年6月) ・「邑誌でみた朝鮮時代の平壤の学校とその運営」(共著、『教育史学研究』27(1)、教育史学会、平成29年5月) ・「日帝強占期の公民科導入期前後における朝鮮の『公民教育』意味変容に関する概念史研究」(共著、『教育哲学研究』39(3)、韓国教育哲学学会、平成29年9月) ・博士論文「日帝強占期の師範学校の教育課程に関する研究－教科を中心に」(大韓民国東国大学校、平成30年2月) ・「第二次朝鮮教育令前後における初等教員試験の動向と実態－植民地朝鮮で発行された新聞記事の分析を中心に－」(『筑波大学教育学系論集』第45巻第1号、令和2年10月)
HIGGINS Niall	B.A. in History and Politics	English Listening & Speaking 1 English Listening & Speaking 2	
福田 直	農学修士	教職概論 教育行政学 特別活動論	<p>[著書]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『土をどう教えるか－新たな環境教育教材』上巻・下巻(共著(編集委員長)、故近書院、平成21年) ・『自然の教育』カリキュラム ふ

			<p>れる・感じる・気づく一年少編」、『自然の教育』カリキュラム ふしぎの心をふくらませる一年中編』『自然の教育』カリキュラムー冒険する・仲間と学びあう一年長編』（共著、ひとなる書房、平成 25 年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『土壌の観察・実験テキストー自然観察の森の土壌断面集きー』（共著、一般社団法人日本土壌肥料学会、平成 26 年） <p>〔学術論文〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海外と日本の教科書における土壌記載から見た土壌教育の比較研究 (1)ー日本とアメリカの教科書比較ー」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 11 輯、平成 26 年） ・「日本と中国の環境教育の比較分析」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 12 輯、平成 27 年） ・「学習指導要領改訂に向けた学会員の要望調査結果の分析と土壌教育への提言」（『日本土壌肥料学雑誌』第 86 巻第 5 号、平成 27 年） ・「学習指導要領の次期改訂に向けた「土壌教育に関する要望書」の文部科学省への提出の背景と経緯」（共著、『日本土壌肥料学雑誌』第 86 巻第 6 号、平成 27 年） ・「21 世紀型能力の育成におけるフレネ教育技法の導入の意義と課題」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 13 輯、平成 28 年） ・「関係諸機関との連携に基づく教育活動の構築に関する研究ー土壌リテラシーの育成に向けた取組ー」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 14 輯、平成 29 年） ・「スーパーサイエンスハイスクールにおける先進的な取組と成果の検証」（『武蔵野学院大学研究紀要』第 15 輯、平成 30 年）
藤井 宏尚	修士（文学）	フランス語 I	<p>〔著書〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『世界遺産で学ぶフランス語』（共著、朝日出版社、平成 20 年）

			<ul style="list-style-type: none"> ・『はじめてのパリ (新・改訂版)』(共著、朝日出版社、平成 22 年) ・『新・赤い風船』(共著、朝日出版社、平成 25 年) ・『フランスさまざま』(共著、朝日出版社、平成 25 年) ・『キーフレーズで学ぶフランス語』(共著、三修社、平成 30 年) [その他] ・NHK 文化センター、東京都千代田区生涯学習館フランス語講師
本多 周爾	博士 (法学)	国際コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> [著書] ・『発展と開発のコミュニケーション政策』(武蔵野大学出版会、平成 18 年) ・『現代社会の論点』(共著、文化書房博文社、平成 19 年) ・『台湾 メディア・政治・アイデンティティ』(春風社、平成 22 年) ・『国際コミュニケーションの政治学』(春風社、平成 29 年) [学術論文] ・「ナショナル・アイデンティティを再考するー日本からの視点を中心に」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 6 輯、平成 25 年 4 月) ・「いま ODA に求められているものー日本の国際的な役割」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 10 輯、平成 25 年 4 月) ・「文化帝国主義という言説」(慶応義塾大学法学研究会『法学研究』第 86 巻第 7 号、平成 25 年 7 月) ・「ODA から見た日本の国際貢献」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 11 輯、平成 26 年 3 月) ・「衛星放送とインターネットで変わる国際コミュニケーション」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 7 輯、平成 26 年 3 月) ・「プロパガンダ：政治宣伝と説得のコミュニケーション」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第 8 輯、平成 27 年 3 月)

			<ul style="list-style-type: none"> ・「ネーション、ナショナリティ、そしてナショナリズム」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第12輯、平成27年3月) ・「戦争をめぐるメディア報道とプロパガンダ」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第9輯、平成28年3月) ・「東アジア情勢とナショナリズム」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第13輯、平成28年3月) ・「国際コミュニケーションに影響を与えるいくつかの要因」(『武蔵野学院大学大学院研究紀要』第11輯、平成30年3月)
森 祐介	修士(経営学)	基礎英語2 ボランティア	<p>[学術論文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高等教育機関における外国人教員が直面する問題とそれをサポートする日本人教職員との関係性の考察」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第17輯、令和2年3月) ・「産学官霊験によるPBLオンラインインターンシップの設計と実践」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第18輯、令和3年3月) ・「地域に貢献する産学官連携によるPBL型インターンシップの設計と実践」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第19輯、令和4年3月)

・教員養成に係るカリキュラム、シラバスなど

○基礎科目

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目										
認定を受けようとする学部・学科等		国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科	入学定員 120 名		学位 学士（国際コミュニケーション）				
科 目		単位数		左に対応する開設授業科目				備考	職位	教員氏名
				授業科目	配当年次	単位数				
		必修	選択							
日本国憲法		2	現代社会論 1（日本国憲法を含む）	1・2	2		講義		兼任	辻健司
体育		2	スポーツ 1	1・2		1	実習	2 単位 選択 必修	兼任	上久保利直
			スポーツ 2	2・3		1	実習		兼任	上久保利直
			スポーツと健康	2・3		2	演習		兼任	上久保利直
外国語コミュニケーション		2	基礎英語 2	1		2	演習	1 科目 2 単位 選択 必修	教授 講師 兼任 兼任	藤田公司 森田真登 青木由紀子 高野一雄 森祐介
			中国語 I	1・2		2	演習		兼任 兼任	許楽 中川太介
			韓国語 I	1・2		2	演習		兼任 兼任	田中雄一朗 蓮池重代
			フランス語 I	1・2		2	演習		兼任 兼任	西村友樹雄 藤井宏尚
情報機器の操作		2	情報処理入門	1・2	2		演習		教授	砂子岳彦

①教科及び教科の指導法に関する科目（英語科）

学部・学科等		施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				備考	職位	教員氏名	
学部	学科等	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数					授業形態
						必修	選択				
国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション部	国際コミュニケーション学科 免許状取得に必要な最低修得単位数 ・教科及び教科の指導法に関する科目 中30単位 高24単位	教科及び教科の指導法に関する科目	英語コミュニケーション	英語学	英語学概論	2・3	2		講義	兼任	梅田紘子
				英語文学	英語文学	2・3	2		講義	教授	佐々木隆
					English Reading & Writing 1	1	2		演習	講師 講師 兼任	森田真登 青木由紀子 青木雅幸
					English Reading & Writing 2	1	2		演習	教授 准教授 講師 兼任	藤田公司 穂元美咲 青木由紀子 青木雅幸
					English Listening & Speaking 1	1	2		演習	教授 講師 助教 兼任 兼任	J. Trambley B. Case 桐田敬介 R. Gardner N. Higgins
					English Listening & Speaking 2	1	2		演習	教授 准教授 講師 兼任	J. Trambley J. Cherry B. Case N. Higgins
					Advanced English Reading & Writing 1	2	2		演習	准教授 講師	穂元美咲 青木由紀子
					Advanced English Reading & Writing 2	2	2		演習	教授 講師 講師	和田賢治 森田真登 青木由紀子
					基礎英語 1	1	2		演習	講師 講師 兼任 兼任	森田真登 青木由紀子 荒木洋育 高野一雄
					英語討論	3・4	2		演習	教授	林大輔

			異文化理解	異文化コミュニケーション	2・3	2		講義		准教授	穂元美咲			
			教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目											
			各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ	2	2	演習	中一種免許 全科目必修	講師	森田真登				
		英語科教育法Ⅱ		2	2		演習				教授	佐々木隆		
		英語科教育法Ⅲ		3	2		演習						兼任	青木雅幸
		英語科教育法Ⅳ		3	2		演習							

②大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目				備考	職位	教員氏名	
学部	学科	科目区分	単位数	授業科目	配当年次	単位数					授業形態
						必修	選択				
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学科 免許状取得に必要な最低修得単位数 ・大学が独自に設定する科目 中4単位 高12単位	大学が独自に設定する科目	中4 高12	教育社会学	2・3		2	講義	高一種免のみ	兼任	小口恵巳子
				国際コミュニケーション	1・2		2	講義		兼任	本多周爾
				ボランティア	2・3		2	実習		兼任	森祐介
				道德教育の指導法	2・3		2	講義		兼任	八木浩雄
				日本文化論1	1・2		2	講義		教授	高橋恵美子
				日本社会論1	1・2		2	講義		教授	久保田哲
				国際文化交流	1・2		2	講義		教授	佐々木隆

③教育の基礎理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目				備考	職位	教員氏名	
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	配当年次	単位数					授業形態
					必修	選択				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	12	教育原理	1・2	2		講義		教授 講師	野村和 青木由紀子
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	1・2	2		講義		兼任	福田直
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学	3・4	2		講義		兼任	福田直
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	1・2	2		講義		兼任	國枝俊弘
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	2・3	2		講義		教授	成瀬雄一
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	2	2		講義		教授	野村和
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		道徳の理論及び指導法	中13 高11	道徳教育の指導法	2・3	2		講義	中一種免のみ
総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	3	2			講義		教授	佐々木隆	
特別活動の指導法	特別活動論	3	2			講義		兼任	福田直	
教育の方法及び技術	教育方法(ICT活用を含む)	3	2			講義	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む	教授	野村和	
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法							教育の方法及び技術に含まれる			
生徒指導の理論及び方法	生徒指導論	3	2			講義		兼任	齋藤英男	
教育相談(カウンセリングに関する基礎	教育相談	3	2			講義		教授	成瀬雄一	

	的な知識を含む。)の理論及び方法									
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		進路指導	4	1		講義		教授	高橋暢雄
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習 I	4	1		講義		兼任	高野一雄
			教育実習 II	4	2		実習		兼任	高野一雄
			教育実習 III	4		2	実習	中一 種 免 必修	兼任	高野一雄
	学校体験活動									
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	4	2		演習		兼任	高野一雄

・学生の教員免許状取得状況

卒業年次 免許状 種類	令和4年9月 卒業	令和5年3月 卒業	令和5年9月 卒業	令和6年3月 卒業
中学校教諭一種 (英語科)	0名	4名	0名	5名
高等学校教諭一 種(英語科)	0名	4名	0名	6名

・教員への就職状況

卒業年次 免許状 種類	令和4年9月 卒業	令和5年3月 卒業	令和5年9月 卒業	令和6年3月 卒業
中学校教諭一種 (英語科)	0名	0名	0名	0名
高等学校教諭一 種(英語科)	0名	1名	0名	0名